

おむすび健康計画！～世界と日本を結んで、健康について考えてみよう～

所属	愛知県名古屋市立引山小学校	実践者	板倉 めぐみ
対象	小学5年生	時間数	3時間
場所	教室、視聴覚室	実践教科	総合的な学習の時間
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他国についてたくさんの視点から考え、違いを肯定的に受け取ることができる。 ・発展途上国の問題は日本とも関係していることや先進国である日本にも問題があることを知り、暮らしの中で自分たちができていることを考える。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<p>◆想像ガーナ！本当ガーナ！</p> <p>①ガーナってどんな国？ 用紙に箇条書きで記入する。</p> <p>②想像のガーナをつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループをつくり、①で想像したガーナを発表する。 ・グループで相談し、用紙にイラストと言葉で想像ガーナをつくる。 ・グループごとに想像ガーナを紹介する。 <p>③本当のガーナを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの写真を見て、ガーナについて知る。 ・実物教材(カカオ、お金、楽器、チョコレート)に触れる。 <p>④思ったことを発表する “やっぱりね”“びっくり”と思ったことを発表する。</p>	<p>・現地で撮影した写真</p>
	2	<p>◆世界と日本の健康問題について知ろう</p> <p>①健康問題について知る グループをつくり、テーマ(国内の水・食・健康、世界の水・食・健康)に沿った資料を読む。</p> <p>②必要な情報をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を読んで印象に残ったこと、みんなに知ってもらいたいと思った箇所に印をつけ、印をつけたところを中心に資料の内容を画用紙にまとめる。 <p>③グループ内で情報を共有する グループ内で画用紙にまとめたことを発表する。</p>	
	3	<p>◆みんなが健康な生活を送るために、自分たちができていることを考えよう</p> <p>①まとめたことを発表する 同じテーマの世界・国内グループ間でまとめたことを発表しあう。</p> <p>②国内と世界の健康問題を確認する 水・食・健康について国内と世界にはどのような問題が起きているのか全体で確認する。</p> <p>③自分たちにできていることを考え、発表する</p>	
成果	<p>写真の表情に注目させたり、現地でのエピソードを話したりしたことで、ガーナの様々な健康課題を取り上げたが、子どもたちはガーナをととても肯定的に捉えていた。健康問題について知り、自分の生活を振り返るとともに、これからどのようになるとよいか考えることができた。</p>		
課題	<p>子どもたちに伝えたいこと、知ってほしいこと、考えてほしいことがありすぎて、内容を盛りだくさんにしてしまい、最後の自分たちにできていることを考える活動が十分にできなかった。限られた時間内でできるよう、授業内容や活動を精選する必要があった。</p>		
備考	<p>授業は担任とTT指導で行った。</p>		

[授業実践の詳細]

1 時限目「想像ガーナ！本当ガーナ！」

1 子どもの活動の流れ

- ① ガーナってどんな国？
用紙に箇条書きで記入する。
- ② 想像のガーナをつくろう
3～4人の6グループをつくり、想像したガーナを発表した後、グループで相談し、用紙にイラストと言葉でまとめ、想像したガーナをつくっていく。最後に、グループごとに想像したガーナを紹介する。
- ③ 本当のガーナを知ろう
パワーポイントの写真を見て、ガーナについて知る。実物教材(カカオ、お金、楽器、チョコレートなど)に触れる。
- ④ 思ったことを発表する
ガーナについて知り、“やっぱりね”“びっくり”と思ったことを発表する。

この時限のねらい

- ・たくさんの視点から他国について考える。
- ・ガーナと日本の違いを肯定的に受けとめる。
- ・互いの考え方や感じ方の違いを肯定的に受けとめる。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 個人でガーナについて想像する活動では、あまり意見が出てこないと予想をしていたが、子どもたちからは肌の色や景色、食事についてなどたくさんの意見が出てきた。グループになり発表したときは、お互いの想像するガーナを興味深く聞いている様子だった。
- ◇ 子どもたちがガーナについて想像したあとに、ガーナの写真を見せたことで、食事の写真では、“手で食べている！”人物の写真では、“靴をはいている！肌の色は黒い！制服を着ている！髪型は短い”などこちらから説明をしなくても十分なほど、一つ一つの写真でたくさんのことを発見することができていた。
- ◇ 写真を紹介する際に、ガーナの人々の表情にも注目させた。子どもたちは、笑顔がいっぱいであることに気付き、思ったことを発表する活動時には、「水がなかったり、電気がなかったり、日本より困ることはあるけれど、みんなで助けあっていいなと思った」という意見が出た。日本とガーナの違いを知り、ガーナっていいなと思う点もたくさん見つけることができていた。

やっぱりね！と思ったこと	びっくり！と思ったこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ごはんを手で食べる ・川で洗濯している ・水を運んでいる ・肌の色や髪型 ・チョコレート 	<ul style="list-style-type: none"> ・都会がある ・服装がちやんとしている ・トイレに天井がない ・物の売り方 (交渉して売る)

<基本情報>

国 名・・・ガーナ共和国
 国土面積・・・238,537 km²
 (日本の約3分の2)
 人 口・・・約2,590万人
 (日本の約5分の1)
 首 都・・・アクラ
 言 語・・・英語
 通 貨・・・ガーナセディ



3 使用した教材

- <教材1> 教師海外研修で撮影した写真(パワーポイント)
- <教材2> 現地で購入した楽器、チョコレートなど



2 時限目「世界と日本の健康問題について知ろう」

1 子どもの活動の流れ

- ① 健康問題について知る
3～4人の6グループをつくり、テーマ(国内と世界の水・食・健康)に沿った資料を読む。
- ② 必要な情報をまとめる
自分が担当した資料を読み、印象に残ったことやみんなにも知ってもらいたいと思った箇所に赤線で印をつけ、印をつけたところを中心に資料の内容を画用紙にまとめる。
- ③ グループ内で情報を共有する
同じテーマのグループのメンバーに自分の担当した資料の内容と自分の思いを紹介し、情報を共有する。

この時限のねらい

- ・発展途上国の問題は日本とも関係していることを知る。
- ・先進国である日本にも健康に関する問題があることに気づく。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「一人一人異なる資料のため、あなたが持っている情報はあなたしか知らない。その情報をみんなに伝えてほしい。」ということ子どもたちに伝えると、責任を感じ、一生懸命資料を読み、みんなが理解しやすいようグラフや図などをかき込み、工夫することができていた。
- ◇ 分からない言葉や理解できない文章があると、同じグループ内で助け合う姿が見られた。授業のはじめに前時の授業の振り返りを行い、「ガーナの人々は困ったときは助け合う。だから、みんな笑顔でいられるんだね」ということを確認した。子どもたちの中に、その気持ちが残っている様子であった。
- ◇ 自分の思いの欄には、世界の実態を知り、自分の今の生活を振り返ったり、今後気をつけていきたいことを記入したりすることができていた。しかし、初めて聞く言葉や情報が多かったため、十分に理解できない子どももいた。
- ◇ 子どもの思い・感想は以下の通り。

- ・世界の水はきれいではないところもあると分かりました。そして、国と国でも協力し合っていくといいと思いました。
(世界・水グループ)
- ・医療整備が遅れていることでたくさんの方が苦しむので、できるだけ早く医療整備を進めてほしいです。
(世界・健康グループ)
- ・世界には、きがで苦しむ子どもがいるなか、日本には食物がいっぱいあるので、食物を残さないで食べてほしい。
(世界・食グループ)
- ・外国産の物じゃなく、国産の物を選んで、ごはん(お米)をちゃんと食べるようにしたい。
(日本・食グループ)
- ・日本はとてもめぐまれているので、その知識を世界にもっていききたい。そして、予防注射などもきふできるといいなと思った。
(世界・健康グループ)

健康に関する問題 ～国内編～ ①

(1) 外食の増加

手軽に安い値段で食事をする事ができる店が増えた、働く女性がなくなったことなどが理由で、日本では昔に比べ外食をする機会が増えた。世界的にみても、年間1人あたりが外食をする回数はとても多いことが分かる。

年間1人あたりが外食をする回数

日本・・・196回 アメリカ・・・119回 スペイン・・・105回
ドイツ・・・85回 イギリス・・・84回

(2) ファーストフードに含まれる栄養素

早い時間で、安い値段で食べることができるハンバーガーやピザ、フランクフルトなどのことをファーストフードという。ファーストフードの食事は、栄養素が多く含まれているため、食べすぎには注意が必要。気を付かず食べ過ぎると、肥満や糖尿病、がんなどの病気につながる可能性がある。



※セットで食べた場合は、さらに栄養素をとることになる。

(3) 糖尿病

糖尿病はカロリーのとまり過ぎ、肥満、運動不足などが原因で起こる病気である。世界の糖尿病人口をみると、日本は上位10カ国のうちに入っていることがわかった。最近までは、老人の病気であると考えられていたが、最近では子どもでもかかる人数が増加している。

3 使用した教材

<教材3> 世界と国内の水・食・健康に関する資料

3 時限目「みんなが健康な生活を送るために、自分たちができることを考えよう」

1 子どもの活動の流れ

- ① まとめたことを発表する
前時の授業でまとめたことを、テーマが同じ日本と世界のグループで発表しあい、起きている問題について知る。
- ② 日本と世界の健康問題を確認する
全体で水・食・健康についてどのような問題が起きているのか、黒板に記入していき、確認する。また、自分が担当したテーマ以外の情報を共有する。
- ③ 自分たちに今できることを考える
自分やみんなが健康な生活を送ることができるように、自分たちが普段の生活でできることを発表する。

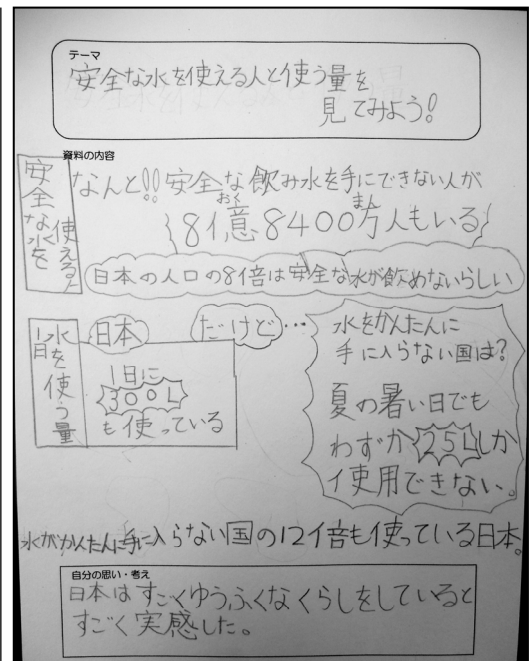
この時限のねらい

自分の健康を守るため、世界の人びとが健康になるために、暮らしの中でできることを考える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ まとめたことを発表する場面では、同じテーマということもあり、興味を持って聞く子どもの姿がみられた。また、発表者も資料を精選したり、発表内容の順番を工夫したりして、発表への意欲が高まっていた。
- ◇ 発表後、全体で確認をすることで、世界では様々な問題が起きている、先進国の日本にも課題があることに気づくことができていた。
- ◇ 暮らしの中でできることを考える場面では、主に自分の資料のテーマに沿った意見を発表する子どもが多かった。内容について十分に理解し、自分でできることについて考えることができていたようであったが、その他のテーマについては、情報が少なかったこともあり、十分に考えることができていない子どももいた。
- ◇ 授業を終えた子どもたちの感想は以下の通り。

- ・ガーナは日本みたいにゆうふくではないけど、えがおでたすけあって生きていくのがすごい。もしかしたらガーナがゆうふくかも。ごはんもおいしそう。カカオはにがいにおいがした。
- ・日本はめぐまれていて水も使えるし、火もつきます。でも、水の使えない世界のことを考えて、節水、節電を心がけたいなと思いました。そして、ガーナのようにみんなで助けあって笑顔でいられるといいなと思いました。
- ・日本は平和でも、がんなどの病気もあって、日本もふくめ、世界ではいろいろなことが起きていることがわかった。
- ・僕たち日本人は、生まれたときからきれいな水を飲めたり、使えたりしているし、健康に暮らしているから、それがあたり前の環境だと思っている。でも、世界規模で考えるとガーナのようにまだ川の水を使っていたり、健康に暮らせていない人もいたりするから、今ある環境を大切にしていきたい。



3 使用した教材

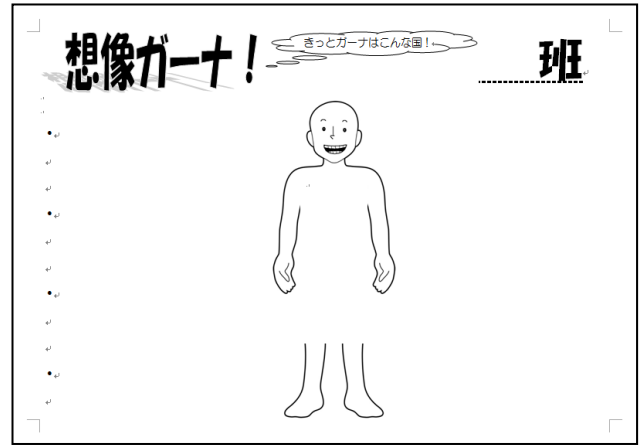
<教材3> 世界と国内の水・食・健康に関する資料

■ 全体を通して

1 授業の様子



<想像ガーナで使用したワークシート①>



<想像ガーナで使用したワークシート②>

2 参考文献・資料

- 1) JICA 「ぼくら地球調査隊」小冊子5種
- 2) JICA 「国際理解教育実践資料集～世界を知ろう！考えよう！～」 2015
- 3) 沖大幹 「水の世界地図 第2版」 2010 丸善
- 4) 大賀圭治 「食料の世界地図 第2版」 2009 丸善
- 5) 千葉百子 「病気と健康の世界地図」 2009 丸善
- 6) 平野裕二 「子どもと健康の世界地図」 2008 丸善